別紙

Ⅱ．事業評価個表

R4

| 番号 | 交付金事業の名称 |
|---|---|
| 2 | 幌延深地層研究センターに係る広報・調査等交付金事業 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 交付金事業者名又は間接交付金事業者名 | 幌延町 | | |
| 交付金事業実施場所 | 幌延町一円 | | |
| 交付金事業の概要 | 原子力及び幌延深地層研究センターの研究内容に対する理解促進に係る事業を実施します。<br>具体的には、エネルギー関連施設見学会の実施、講習会の実施、広報用パンフレットの配布、情報収集等です。 | | |
| 総事業費 | 8,925,798 | 交付金充当額 | 8,925,794 |
| | | うち文部科学省分 | － |
| | | うち経済産業省分 | 8,925,794 |
| 交付金事業の成果目標 | 最新かつ正確な事業内容に関する情報を収集することにより、知識の蓄積・普及を促進し、関係機関との的確な連携構築により、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図ることを目的として事業を実施します。 | | |
| 交付金事業の成果指標 | 成果目標の達成のため、本交付金を活用した事業により、エネルギー関連施設見学会の町民参加50名、講習会の地域住民参加180名、広報用パンフレット配布部数300部により、知識の普及を図ります。<br>なお、エネルギー関連施設見学会においては、見学者の施設理解度を60%と設定します。 | | |
| 交付金事業の成果及び評価 | ・広報用パンフレット300部を購入・配布し、知識の普及を図ることができました。<br>・冊子「マンガで探検！幌延深地層研究センター」を制作し、町内全戸、公共施設等に配置したほか、町ホームページで閲覧できるようにし、幌延深地層研究センターの開設主旨や研究内容等に関する知識の普及を図ることができました。<br>・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点から、エネルギー関連施設見学会については実施見送りとしましたが、来年度以降については、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図るため、今年度実施できなかった事業も含め、継続して事業を実施していきます。 | | |

交付金事業の契約の概要

| 契約の目的 | 契約の方法等 | 契約の相手方 | 契約金額 |
|---|---|---|---|
| 研修（旅費） | ― | 幌延町職員、議員 | 373,090 |
| 情報収集整理 | 随意契約（競争入札不適） | 各新聞社　等 | 367,548 |
| 情報収集整理（給料、手当、共済費） | ― | 幌延町会計年度任用職員 | 3,446,760 |
| 情報収集整理 | 随意契約（少額） | ダーシェニカ | 18,937 |
| 新聞、雑誌等広報 | 随意契約（競争入札不適） | 各出版社　等 | 874,240 |
| ポスター、チラシ、パンフレット等広報 | 随意契約（少額） | ダーシェニカ | 99,770 |
| ポスター、チラシ、パンフレット等広報 | 随意契約（競争入札不適） | 一般社団法人日本電気協会新聞部 | 99,000 |
| ポスター、チラシ、パンフレット等広報 | 随意契約（プロポーザル） | 株式会社トレンド・プロ | 3,437,500 |
| 連絡調整（旅費） | ― | 幌延町職員 | 157,500 |
| 連絡調整 | ― | 東日本高速道路㈱ | 14,300 |
| 連絡調整 | 随意契約（少額） | ダーシェニカ | 12,733 |
| 関係機関協議用消耗品 | 随意契約（少額） | ダーシェニカ | 24,420 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 計 | | | 8,925,798 |

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無

無